

(様式第7号)

地域の課題解決のための活動報告

記入日：令和 4 年 6 月 30 日

作成者：熊懷 賀代

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的な数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

*この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名	
NPO 法人「絵本で子育て」センター 絵本講師の会	
事業名	日時 (期間), 場所
ふれあい 絵本 50 冊+ カフェ “とらトラ寅虎の絵本”	2022 年 1 月 8 日 13:30~ 市民活動センター リードあしや
内容 (実績) *実施したことを具体的に	受益者数
カフェと合わせて、干支にちなみ、トラの活躍する絵本を50冊、日本と海外の昔話、創作絵本、写真絵本、図鑑など幅広く紹介し、絵本のある時間、空間を共に楽しむ。 ・おはなし会 ・展示 ・パタパタ3面絵本づくりコーナー 展示絵本を自由に手に取って見てもらったり、手作り絵本コーナーで子どもさんを応援したりしながら、参加者同士やスタッフと交流し、絵本や子育てについての個別の相談に答えたりした。	参加者とその家族、など 26人
	参加者数 大人 19 人、 子ども 10 人 (スタッフ参加 7 人)
成果 (社会へのインパクト) *どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に	
感染症拡大防止のために外出や家族以外の人との接触などを控えるようになって2年余り、様々なイベントも新たな工夫をして展開試行の時期である。私たちの絵本講座も事前の申し込みはキャンセル待ちもある状況となった。子育ての中でのちょっとした楽しいお出かけや、共通の興味関心をもつ人との気軽な心地よい交流の場が求められており、「ふれあいカフェ」は対策に配慮した会場という安心感もあり、団体スタッフも初めて来てくださった市民の方も、くつろいだ明るい雰囲気絵本の読み聞かせなどを楽しむことができた。「とら、というだけでこんなにいろいろな絵本があると改めて感じた」「図書館や書店でゆっくりと絵本を選ぶのは難しいので、とてもよかった」という感想もあった。	
今後の展望 (どのように継続、発展するか)	
感染症対策と並行して社会活動をどのような形で進めていくのか、社会全体で模索が続く中、これまでは心配なかったような家庭状況でも“孤育て”に陥る可能性も考えられる。元々、絵本講座は子育ての中で良質の絵本を読むことのよさを実感してもらい、また地域で開催することによって身近に子育ての見方がいることも感じてもらうことも目指しているが、ふれあいカフェは赤ちゃんや小さなお子さん同伴でも、絵本に関心のある大人の方でも気軽に参加し共に楽しむことができ、参加者と社会のつながりの場になる。またテーマ発信の場としても今後も工夫を重ねながら参加していきたいと考えます。	